

# 神戸常盤短期大学紀要

## 執筆要領

1. 論文は和文または英文とする。
2. 記載事項：表題、著者名、所属、英文要旨、キーワード、本文、参考文献、図表説明の順に記載する。
3. 原稿の書き方：
  - 1) 和文原稿には英文の表題、著者名、所属を併記する。
  - 2) 英文要旨：要旨は200語以内とする。要旨は目的、方法、結果、結論などの内容を簡潔にまとめる。  
(英語を母国語としている・英語を専門としている・英文校正を生業としている者の校閲を受けることが望ましい)\*
  - 3) キーワード：5語以内とする。
  - 4) 本文における「はじめに」……「考按」「結論」「文献」などの見出しは、それぞれの欄の中央位に取る。
  - 5) 枚数：本文400字詰め原稿用紙30枚以内とし、表・図・写真計15以内とし、図表については、その掲載箇所を本文中に朱書により明示する。
  - 6) 外国の地名、人名等は原語または英語名とし、最初の文字以外は小文字とする。術語については、それぞれ専門用語集などによる。ゴシック又はイタリックを希望するものについては、その箇所を欄外に指定する。
  - 7) 度量衡は原則としてSI単位（国際単位系）とする。
  - 8) 略字については、広く慣用されているものとする。その他の記号あるいは略字については、論文中にはじめて使用するとき、その語の次に括弧で括って明示する。  
例：Experience Sampling Method（経験抽出法：以下ESM）
  - 9) 文献の記載は下記による。  
引用箇所の右肩にHenry,<sup>1) 6)</sup> 透析法<sup>3) ~5)</sup> などのごとく細字をもって表し、論文の最後一括して文献の表題を付して引用順に掲げる。  
人名は正しく記載し、全員を掲げる。欧文については次の記載例による。  
Henry, W.L., Clark, C.E. and Kato, Y:  
雑誌などの略語は、雑誌所定のものがあればこれを用いる。  
記載方法は下記の順とする。  
雑誌……著者名：表題名、雑誌名、巻（号）、最初～最後頁、出版年。  
単行本……著者名：書名（版）、最初～最後頁、発行所、発行地、発行年。  
訳本……著者名：書名（版）、発行年  
訳者名：書名、最初～最後頁、発行所、発行地、発行年。  
電子文献……著者名：タイトル名、アドレス、入手日、作成日（又は更新日）
  - 10) 以上の要領にかかわらず、各専門分野の慣用に従うことができる。
4. その他
  - 1) 投稿に際しては、原稿とフロッピーディスクを提出し、フロッピーディスクには著者名、用いたソフトウェアおよびフォーマット形式などの必要事項を明記する。原稿はA4用紙を使用する。